

全自動タイプ

給湯暖房用熱源機

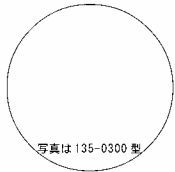
取扱説明書

| 品名・機種コード | 型式名 | B L 品番 | 号数 | |
|-----------|-------------|------------------|-----|-----|
| 135-4300型 | GH-1642W | XT-2803ARS-AW6Q | 16号 | |
| 135-4302型 | GH-1642T | XT-2803ARS4-AW6Q | | |
| 135-4304型 | GH-1642Y | XT-2803ARS2-AW6Q | | |
| 135-4305型 | GH-1642B | XT-2803ARS8-AW6Q | | |
| 135-4306型 | GH-1642U | XT-2803ARS9-AW6Q | | |
| 135-4400型 | GH-1642W | XT-2803ARS-AWQ | | |
| 135-4402型 | GH-1642T | XT-2803ARS4-AWQ | | |
| 135-4404型 | GH-1642Y | XT-2803ARS2-AWQ | | |
| 135-4405型 | GH-1642B | XT-2803ARS8-AWQ | | |
| 135-4406型 | GH-1642U | XT-2803ARS9-AWQ | | |
| 135-0300型 | GH-2442W | XT-4203ARS-AW6Q | | 24号 |
| 135-0302型 | GH-2442T | XT-4203ARS4-AW6Q | | |
| 135-0304型 | GH-2442Y | XT-4203ARS2-AW6Q | | |
| 135-0305型 | GH-2442B | XT-4203ARS8-AW6Q | | |
| 135-0306型 | GH-2442U | XT-4203ARS9-AW6Q | | |
| 135-0307型 | GH-2442TF | XT-4203ARS0-AW6Q | | |
| 135-0400型 | GH-2442W | XT-4203ARS-AWQ | | |
| 135-0402型 | GH-2442T | XT-4203ARS4-AWQ | | |
| 135-0404型 | GH-2442Y | XT-4203ARS2-AWQ | | |
| 135-0405型 | GH-2442B | XT-4203ARS8-AWQ | | |
| 135-0406型 | GH-2442U | XT-4203ARS9-AWQ | | |
| 135-3500型 | GH-S2452W-R | XT-4703ARS-AW6C | 27号 | |
| 135-3502型 | GH-S2452T-R | XT-4703ARS4-AW6C | | |
| 135-3504型 | GH-S2452Y-R | XT-4703ARS2-AW6C | | |
| 135-3505型 | GH-S2452B-R | XT-4703ARS8-AW6C | | |
| 135-3506型 | GH-S2452U-R | XT-4703ARS9-AW6C | | |
| 135-3600型 | GH-S2452W-R | XT-4703ARS-AWC | | |
| 135-3602型 | GH-S2452T-R | XT-4703ARS4-AWC | | |
| 135-3604型 | GH-S2452Y-R | XT-4703ARS2-AWC | | |
| 135-3605型 | GH-S2452B-R | XT-4703ARS8-AWC | | |
| 135-3606型 | GH-S2452U-R | XT-4703ARS9-AWC | | |

| もくじ | ページ |
|--------------------------|-----|
| この製品の特長 | 1 |
| 安全に正しくお使いいただくために | 2 |
| この取扱説明書の表示について | 2 |
| 機器本体の表示について | 2 |
| 必ずお守りください | 2 |
| 各部の名称とはたらき | 8 |
| ご利用前の準備 | 11 |
| 機器の準備 | 11 |
| リモコンを「入」にする | 12 |
| 現在時刻を合わせる | 12 |
| お湯を使うには | 13 |
| 自動でお風呂を沸かすには | 15 |
| お風呂沸かしを途中で停止したいときは | 16 |
| 沸かし直しをするには | 16 |
| ふろ温度・保温時間・ふろ水位をセットするには | 17 |
| ふろ温度の設定 | 17 |
| 保温時間の設定 | 18 |
| ふろ水位の設定 | 18 |
| チャイムや音声ガイドの音量を調節する | 19 |
| 音量の設定 | 19 |
| お風呂のお湯を熱くするには(追いだし) | 20 |
| お風呂のお湯をぬるくするには | 21 |
| お風呂のお湯をたしたいときには | 22 |
| お風呂が沸く時刻を予約するには | 23 |
| 予約運転を開始する | 23 |
| 省電力機能について | 25 |
| 暖房運転をするには | 26 |
| 放熱器の運転/停止 | 26 |
| 暖房スイッチ付台所リモコンでの運転/停止 | 26 |
| 浴室予備暖房について | 27 |
| 浴室予備暖房スイッチ付台所リモコンでの運転/停止 | 27 |
| 連動について | 28 |
| 暖房静音について | 28 |
| 暖房静音の設定/解除 | 28 |
| 冬期の凍結予防をするには | 29 |
| 点検のポイント・お手入れのしかた | 31 |
| 故障かな?と思ったら | 34 |
| アフターサービスについて | 37 |
| 仕様一覧 | 38 |

このたびは給湯暖房用熱源機をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。
 この給湯暖房用熱源機には保証書が付いています。
 内容をよくご確認ください。
 この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。
 取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
 その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。



大阪ガス

お使いいただく前に
はじめて使うときには
使い方
長くお使いいただくために

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先
 別添 大阪ガスのお問い合わせ先
 をご参照願います。

お願い ガスくさいときは、ガス栓を閉じ窓を全開にして、(火気に注意して)
 大阪ガスに連絡してください。

この製品の特長

快適な「お湯のある暮らし」のための便利な機能を豊富に揃えました。どうぞお役立てください。

便利です!

- お風呂もシャワー・給湯も暖房も、これ1台でOK。

- スイッチオン!の簡単操作でお風呂が沸かせます。
(→P. 15参照)

- 予約タイマー付きだから、忙しい方も好きなときにバスタイム。
(→P. 23参照)



- 浴室から台所や他の部屋にいる人を呼び出すことができます。
浴室リモコンの呼び出しスイッチを押す



環境にもやさしい!

- リモコンは待機時の消費電力を低減するため、未使用時に画面表示を消す、省電力機能付きです。
※出荷時の省電力モードは「入」になっています。
(→P. 25参照)

- 135-3500型シリーズ・135-3600型シリーズは、熱効率が約95%と高いので、ガスをより効果的に使え環境面でもCO₂削減に貢献します。

追いき配管を自動的にきれいにします

お風呂のお湯を排水したときに、自動的にふろ配管内の残り湯を流し出す機能があります。以下の条件がそろったときに浴槽のお湯(水)を排水するとふろ配管の残り湯を、きれいなお湯(リモコンの運転が「切」の場合は水)を約6リットルで流して浴槽の循環口から排出します。

- 条件
1. ふろ自動運転終了後、浴槽の残り湯が循環口より上にあった場合
 2. 排水中に給湯等を使用していない場合

※この機能の際には、ポンプの回る音がしますが、故障ではありません。

快適です!

- お風呂のお湯の温度を自動的に保温します。また、水位が下がったらたし湯します。いつも快適なお風呂です。
(→P. 16参照)



- この機器は、取り付けるリモコンのタイプをお選びいただけます。

| 型式 | セット内容 |
|-----------|--------------------------------|
| 138-3130型 | 浴室リモコン・台所リモコン(魔法スイッチなしタイプ) |
| 138-3131型 | 浴室リモコン・台所リモコン(魔法スイッチありタイプ) |
| 138-3132型 | 浴室リモコン・台所リモコン(浴室予備暖房スイッチありタイプ) |
| 138-3136型 | 増設リモコン |

- この取扱説明書では、138-3130型・3131型・3132型・3136型の浴室リモコン、台所リモコン、増設リモコンについて説明しています。

- その他の別売のリモコンを取り付けているお宅では、リモコンに付属されているリモコン操作方法の取扱説明書をよくお読みください。

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について■

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

- ⚠ **危険** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
- ⚠ **警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
- ⚠ **注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示については次のような意味があります。



- 🙏 **お願い** ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX参照) 参照ページを示しています。

- 機器本体の表示について (図は、135-0300型を示します。)

使用上の注意

- 使用上の注意について表示しています。

銘板

- 品名・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。

必ずお守りください (安全上の注意)

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

⚠ 危険

屋内設置の禁止

- この機器は屋外設置形ですので絶対に屋内に設置しない。燃焼ガスが室内に充滿したり正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。

ガス漏れ時の処置

- ガス漏れに気づいたときは、機器の使用を中止し、ガス栓を閉じてからお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスに連絡する。
①給湯栓を全て閉じる。
②ガス栓を閉じる。
- すべての処置が終るまでの間絶対に火をつけたり電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。炎や火花で引火し火災のおそれがあります。



火気禁止



2

必ずお守りください

警告

機器設置 (および付帯工事)

●この機器は屋外設置形ですので、増改築などによって屋内状態にしない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止



●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

困り禁止

●設置後、機器や排気口を波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

給排気口の周囲

●給排気口の前方にものを置かない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

ガス接続について

●この機器のガス管の接続はねじ接続です。ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要です。機器の設置、移動、取外しの際には、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

機器本体に無理な力を加えない

●機器本体やガスの接続部などに乗らない。けがや機器の変形による故障のおそれがあります。

地震・火災などの緊急時の場合

●迅速に使用を中止し、ガス栓を閉じる。

お子様には十分な注意を

●浴槽の循環口の付近で湯(水)に潜ったりしない。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。思わぬ事故につながる可能性があります。



●浴槽にお湯張りしているときや沸かしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。



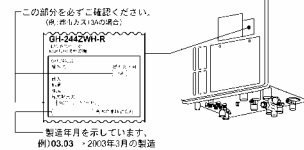
使用ガス、使用電源の確認

●機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用してください。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。

●転居時の注意は(→P. 37 参照)

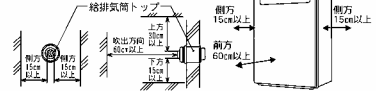


●この機器はAC100V 50/60Hz専用です。この部分必ずご確認ください。標準仕様はAC100V専用です。



火災予防のために必ず守ること

機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。



●機器および排気口・給排気口トップの周辺には紙や木材など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
●機器の周辺ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火性危険物を使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。
●機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ポンペを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。
●排気口・給排気口トップは洗濯物などでおおわない。不完全燃焼の原因となります。



禁止



分解禁止

分解禁止

●お客様ご自身では絶対に分解したり修理・改造は行わない。異常動作して事故の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために、
この内容は必ずお読みください。

お使いいただく前に

異常時の処置について

- 給湯栓を開けても点火しない場合、また、使用中で火が消える場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
- 本書の「故障かな?と思ったら」(34~36ページ)に従って処置をする。
- 上記の処置をしても直らない場合、または、使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合は、使用を中止してお買い上げの販売店または最寄りの大阪ガスへ連絡する。



給湯栓・ガス栓を閉じる

機器本体でのやけどに注意

●機器の使用中止または使用後はしばらくは、排気口・給排気口トップ・排気筒とその周辺部に絶対に手を触れない。高温になっていますのでやけどのおそれがあります。



接触禁止

注意

用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、おふろ沸かし、暖房以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。
- 車両・船舶への搭載はしない。振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。

空だき防止

●追いだしスイッチを押すときは、必ず浴槽の循環口より上に湯(水)が入っていることを確かめる。水位が循環口より低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となることがあります。



長期間使用しない場合

●長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じてください。

本体周辺の防火措置

●本体の周辺は整然としてください。

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

- シャワーなどお湯を使う場合は最初に熱いお湯が出るがあるので注意する。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
- 給湯使用時は出湯管(蛇口)が熱くなるので、やけどに注意する。
- お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が下がったとき、あるいは、万一機器が故障した場合には、一瞬熱いお湯が出る可能性がある。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
- シャワー・給湯使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯や冷水が出て思わぬ事故につながる可能性があります。
- 浴槽に入るときは、手で湯の温度を確認して入浴する。また、浴槽中のお湯は上下に温度差があることがあるのでご注意ください。
- おふろ沸かし(沸かし直し)や追いだし時には、循環口アダプター付近は熱くなることがあるので注意する。



手で温度を確かめる



電気事故防止

- 電源コードを加工したり無理な力を加えない。感電・ショートや発火による火災のおそれがあります。
- 傷んだプラグやコードは使わない。差込みがゆるいと感電や火災の原因になります。
- 電源プラグのほこりは、拭き取る。発火の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグをさわない。感電のおそれがあります。
- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や発火の原因になります。
- この機器は接地工事(アース)が必要なため、アースがされているか確認する。



アースを接続する

ソーラー機器について

●ソーラー機器とは絶対に接続しない。(ソーラーユニットを使用する場合は除く)夏期にソーラーの水温が高くなるとお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどをしたり機器の故障原因になります。



禁止

必ずお守りください

お願い

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。
- やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をお勧めします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

リモコンの扱いについて

- 台所リモコンには水をかけないでください。浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。スピーカ一部に水がつかると音声小さくなる場合があります。
- リモコンはお子様がいじらないよう注意してください。



禁止

断水のと

- 断水のとときは、給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを切ってください。

電源プラグを抜かない

- お手入れの際、水抜きを行い長期間使用しない場合、および凍結防止のため水抜きを行うとき以外は電源プラグを抜かないでください。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたらすみやかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
- 30分以上電源プラグをコンセントから抜いた場合は、リモコンの各設定（給湯温度・ふる温度・ふる水位・現在時刻・予約時刻等）を行い、表示を確認したのちご使用ください。



電源プラグを抜く

雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

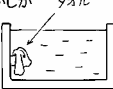
- 落雷の際に、機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

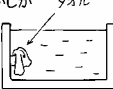
5

飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水（たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで）は、飲まないで雑用水としてお使いください。

入浴時の注意

- 循環口を外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。循環不良によりお風呂沸かしが、 タオル できなくなったり、機器の故障原因になります。



禁止

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、この取扱説明書のP.29「冬の凍結予防をするには」に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

凍結したとき

- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 機器や配管が損傷した場合、高額な修理費がかかります（有料）。
- 凍結がとけたあと再使用するときは、すべての給湯栓から水が出ることを確認し、機器および配管から水漏れがないことを確認後、P.30「機器内の水を抜いたあと、再使用する」ときの項以下の操作を行ってください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。

- 停電時は給湯栓を閉じてください。



給湯栓を閉じる



- 再通電したときは、リモコンの設定（給湯温度・ふる温度・ふる水位・現在時刻・予約時刻等）を行い、表示を確認したあとご使用ください。
- 30分以上の停電のときは、リモコンの再設定が必要です。
- 自動でお風呂を沸かしているときに、停電になると、ふる自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。通電後、再度、運転スイッチを押し、ふる自動スイッチを押してください。（→P.15参照）

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください（詳しくはP.32をご覧ください）。
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 循環口フィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の循環口フィルターがつかると、浴槽の湯温が不均一になったり、沸き上がる前に消火することがあります。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯アカ）により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするるとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水（10%程度）等で拭き取ってください。
- オーバーフロー配管の先からスムーズに排出されるか点検してください。ゴミ等によって閉鎖されている場合は掃除を行ってください。（135-3500型シリーズ・135-3600型シリーズは高効率のため、排水量が多くなっています）

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

乾電池に関する注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

お願い 設置する場所や状況について

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音、燃焼用送風機、ポンプ回転音）で迷惑にならない場所に設置してください（工事担当者にご相談ください）。
- 足場などを組んだり、ハンゴ・脚立を使わずに作業はメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

ほこり

- 砂や油煙、ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいだり、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸・強アルカリの洗剤および、硫酸・黄酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確かめ機器への悪影響がないものをご使用ください。
- ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音が発生したり、フィルターやお湯の通路にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音が発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 葉草やゆず入り入浴剤の場合は、葉草などがフィルターや機器内部につまることがありますので、ご使用を避けてください。



禁止



通水使用の禁止

- 運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器の寿命を短くします。

長期間使用しないときは

- この取扱説明書P.29の「機器の水を抜く方法」に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬沸ったお湯が出たり、冬場に凍結する場合があります。



排気ガス

- 排気ガスが直接建物の外壁やアルミサッシなどに当たらないよう施工してください。外壁が変色したりアルミサッシが腐食したりするおそれがあります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。（寒い日は排気ガスが白い煙のように見えることがあります）

塩び管の使用について

- 給水・給湯配管に塩び管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩び管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。（ただし、オーバーフロー配管は除きます）

地下水や温泉水、井戸水の注意

- この機器は上水専用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

お使いいただく前に

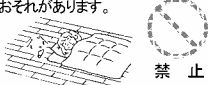
6

必ずお守りください

警告 床暖房についての注意

やけどに注意

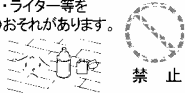
- 長時間、皮膚の同じところに触れて使用しない。低温やけどの原因となります。
〈次のような方は特に注意〉
- ・お子様 ・深酒、疲労の激しい方
- ・お年寄り ・皮膚の弱い方
- ・眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方
- 乳幼児や身体の不自由な方には付き添いなしでは使用しない。低温やけどのおそれがあります。



禁止

火災予防

- 床暖房の上にスプレー缶・ライター等を置かない。爆発や火災のおそれがあります。



禁止

床についての注意

- 床暖房を設置している床面に、突起物（釘・画びょう・きり・ダニ防虫剤の注射針・はさみなど）を落としたり刺したりしないでください。水漏れの原因になります。



禁止

注意

床についての注意

床に水などがこぼれたらすみやかに拭きとる

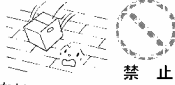
- 床面に水・薬品・しゅう油などをこぼしたままにしておきますと、床暖房の放熱板が腐食することがありますので、すみやかに拭きとってください。



禁止

床へは衝撃を加えない

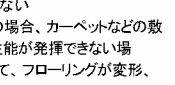
- 床が破損し、水漏れのおそれがあります。



禁止

床仕上材の上に敷物を敷かない

- 木質フローリングをお使いの場合、カーペットなどの敷物を敷かないでください。性能が発揮できない場合や、床暖房の熱がこもって、フローリングが変形、変色することがあります。



禁止

用途についての注意

- 床暖房を他の目的に使用しない。
特殊な用途（例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など）には使わないでください。



禁止

床下防腐処理について

- 床暖房および配管類に処理剤が付着すると腐食することがありますので注意してください。

家具などを直接床に置かない

- 床暖房の上に、調度品・家具などを置きますと家具等に熱がこもり、ひずみ等が発生するおそれがあります。

重いものはそのまま置かない

- ピアノなど重量物にはパットなどを敷いて一箇所に荷重がつかないように設置してください。床が破損し、水漏れのおそれがあります。



禁止

ホットカーペットとの併用はしない

- 床仕上材が変形、変色するおそれがあります。



禁止

カーペットの張替えについて

- 張替える場合には床暖房専用のものを使用し、床暖房を破損しないように両面接着テープかグリッパーにて固定するようにしてください。釘あるいはひょうで固定するのは避けてください。また、交換を考えて、全面接着することは避けてください。

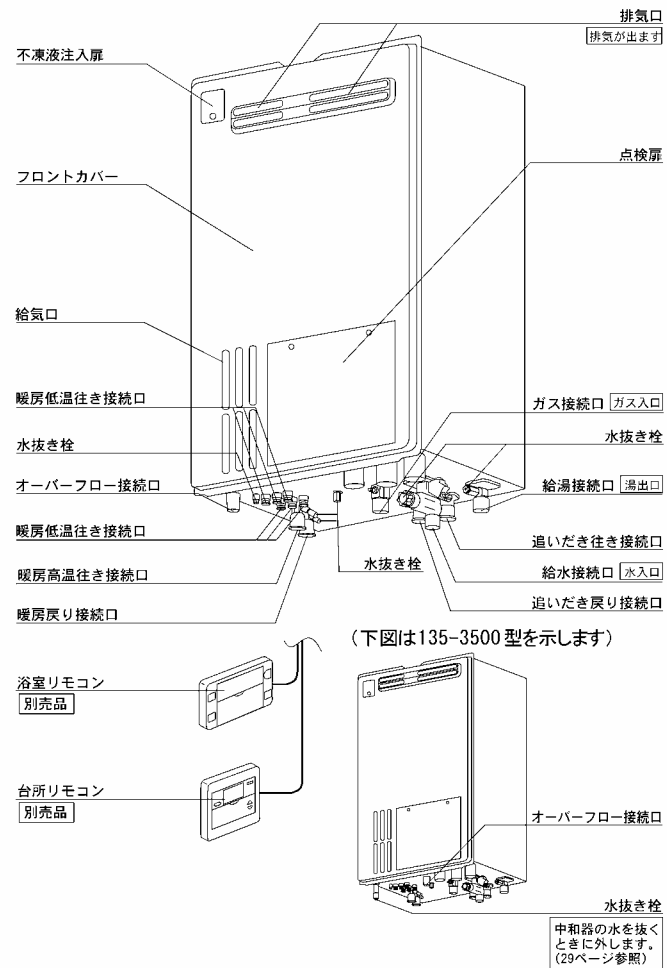


禁止

床暖房以外の放熱器についての注意は、放熱器の取扱説明書にあります。放熱器の取扱説明書をよくお読みください。

各部の名称とはたらき

機器本体（図は135-0300型を示します）



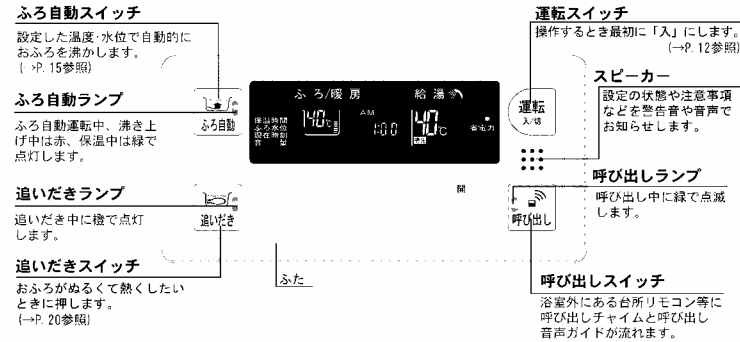
（下図は135-3500型を示します）

お取り扱いの前に

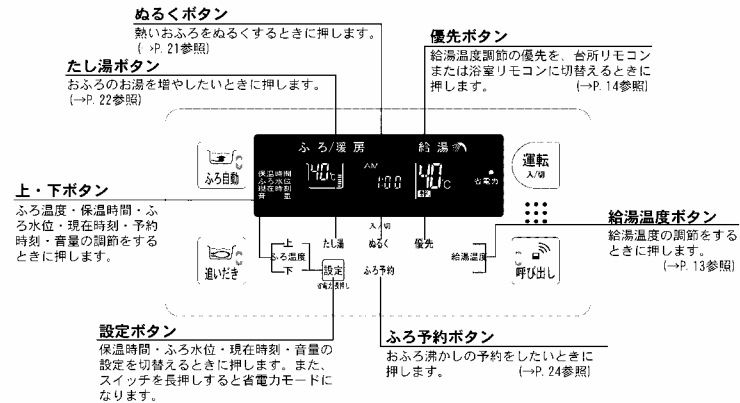
各部の名称とはたらき

■浴室リモコン (浴室に取り付けます)

給湯やおふろ沸かしなど、すべての操作を浴室リモコンで行います。台所リモコン・増設リモコンを使うと、台所や他の部屋から操作(一部の操作)することもできます。通常はふたを閉じておいてください。



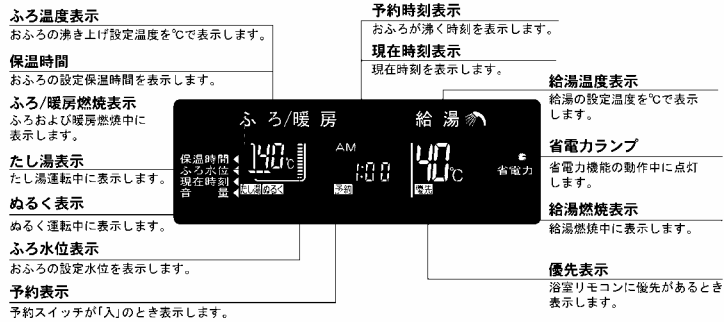
浴室リモコンのふたを開けると、以下のようなボタンがあります。



給湯燃焼表示・ふろ/暖房燃焼表示は左右に動いて、燃焼していることをお知らせします。
給湯燃焼表示・ふろ/暖房燃焼表示の補足説明
燃焼中は左右に動きます。

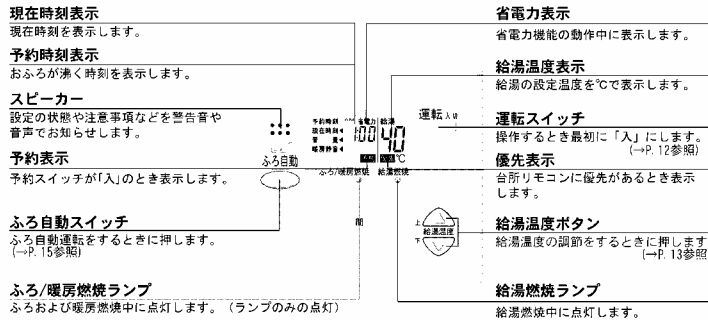
■浴室リモコンの画面表示

浴室リモコンの画面表示には以下のようなものがあり、設定した内容を確認することが出来ます。※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

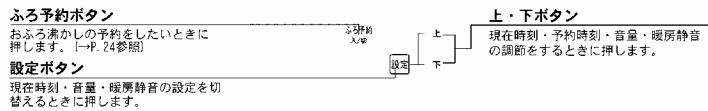


■台所リモコン 138-3130型 (暖房スイッチなしタイプ)

台所に設置して使用します。給湯温度の設定や、おふろ沸かしの自動運転、予約運転などの操作が出来ます。また、暖房運転中の運転音が気になるときには、暖房静音にすることもできます。※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。



台所リモコンのふたを開けると、以下のようなスイッチがあります。

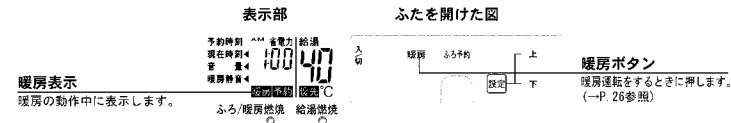


お使いいただく前に

各部の名称とはたらき

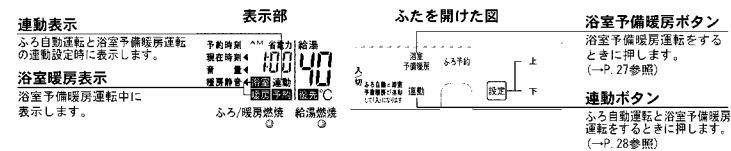
■台所リモコン 138-3131型（暖房スイッチありタイプ）

給湯暖房用熱源機用の暖房スイッチ付台所リモコンです。給湯温度の設定やおふろの自動運転、予約運転などの操作ができます。また、暖房運転の「入」/「切」や、暖房運転中の運転音が気になるときには、暖房静音にすることもできます。
※説明は台所リモコン(138-3130型)との違いのみ説明します。



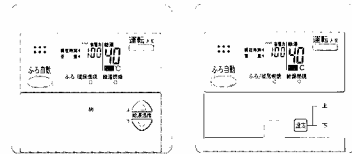
■台所リモコン 138-3132型（浴室予備暖房スイッチありタイプ）

給湯暖房用熱源機用の浴室予備暖房スイッチ付台所リモコンです。給湯温度の設定やおふろの自動運転、予約運転などの操作ができます。また、浴室暖房乾燥機の「入」/「切」や、暖房運転中の運転音が気になるときには、暖房静音にすることもできます。
※説明は台所リモコン(138-3130型)との違いのみ説明します。



■増設リモコン 138-3136型（別売品）

浴室や台所以外の部屋から、運転スイッチの「入」/「切」、給湯温度調節、自動運転が操作できます。各部のはたらきや使い方は台所リモコンと同じですが、ふろ予約運転や暖房静音運転は操作できません。



ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。

■機器の準備

- 1 機器や機器周辺の点検・確認を行います。
- 2 給水元栓を全開にします。
機器の下部にあります。
- 3 給湯栓を開け、水が出ることを確認したら閉じます。
- 4 ガス栓を全開にします。
機器の下部にあります。
- 5 電源プラグをコンセントに差し込みます。
コンセントは機器周辺にあります。

ご利用前の準備

準備ができれば、リモコンのスイッチを入れてみましょう。

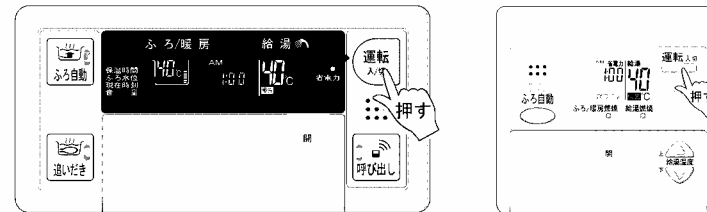
■リモコンを「入」にする ※電源投入後、リモコンが表示するまで多少時間がかかります。

〔台所リモコンの図は138-3130型で説明します。〕

1 浴室リモコンまたは台所リモコンの運転スイッチを押します。

リモコンの画面に図のような液晶表示がされます。運転スイッチを押したリモコンには、優先表示が表示されます。ふろ、給湯を使わないときは、運転スイッチをもう一度押します。リモコンが「切」の状態になり、画面表示が消えます。

浴室リモコン 画面表示・優先表示
省電カラランプ点灯
台所リモコン 画面表示・優先表示
省電力表示
液晶画面ライト点灯

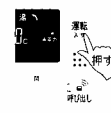


■現在時刻を合わせる

※現在時刻合わせは、いずれかひとつのリモコンで操作します。

1 運転スイッチ「入」を確認します。

〔浴室リモコン〕

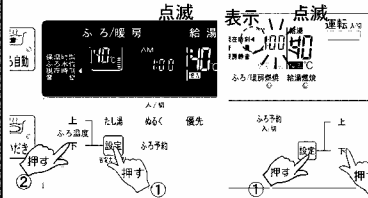


〔台所リモコン〕



2 リモコンのふたを開けます 設定ボタンを押して現在時刻を設定します

〔浴室リモコン〕



設定ボタンを押し、①を現在時刻の右側に表示させ、現在時刻表示が点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。
“現在時刻です 上下ボタンで入力してください”
△または▽ボタンを現在時刻表示が点滅している間（約10秒間）に押してください。再度設定ボタンを押すか、5秒以上何もスイッチやボタンを押さないでいると確定となります。音声ガイドが流れます。
“現在時刻、セットされました”

△ボタンは時刻が進みます
▽ボタンは時刻が戻ります
※ボタンを押し続けると連続的に数字が変わります



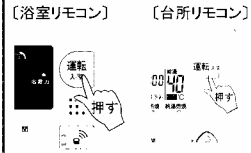
- 出荷時の時刻表示は「AM1:00」になっています。
- AM（午前）・PM（午後）に注意してください。
- 設定時に△または▽ボタンを押さないで約10秒後に確定となりますが、音声ガイドは流れません。
- 初回の時刻合わせは、設定ボタンを1回押せば時刻合わせが出来ます。その後時刻を直したい場合は、浴室リモコンは設定ボタンを3回台所リモコンは1回押してください。

お使いいただく前に
はじめてお使いになるときは

お湯を使うには

工場出荷時には40°Cの設定になっています。

1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 給湯温度を調節します

〔浴室リモコン〕ふた開 〔台所リモコン〕ふた開


給湯温度を調節するリモコンに優先が表示されていることを確認します。浴室リモコンはふたを開けます。給湯温度△または▽ボタンを押して好みの温度に設定します。

△ ボタンは給湯温度が1段階ごと上がります。
▽ ボタンは給湯温度が1段階ごと下がります。

給湯温度は以下の14段階で設定できます。
37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 50 55 60°C


3 給湯栓を開けます



浴室リモコンでは給湯燃焼表示が表示します。台所リモコンでは給湯燃焼ランプが点灯します。

4 給湯栓を閉じます



浴室リモコンでは給湯燃焼表示が消えます。台所リモコンでは給湯燃焼ランプが消灯します。ただし、他の給湯栓が使用中のときや、ふろ自動運転のお湯張り中は消えません。

お湯を使うときの注意

警告 ●給湯、シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。
●シャワー使用中に優先を切替えない。台所リモコンで給湯温度調節を行うと、シャワーの温度が急変し、危険です。必ず、浴室リモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。

ご注意ください

- 給湯栓を閉じても機器の燃焼用ファンがしばらく回転しますが、故障ではありません。
- 表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。
- 使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません（配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります）。
- 給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、燃焼が停止して水になることがあります。
- 水温が30°C近くになる夏期では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少ないと給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするか、水と混合してお使いください。
- ふろ自動運転のお湯張り中のシャワーはふろ設定温度で出湯されます。お湯張りが終了したあとは給湯の設定温度に戻ります。
- お湯を使用中に、ふろ自動・たし湯・ぬるく・追いだし運転をするとお湯の量が減る場合がありますが故障ではありません。

お風呂のシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。給湯は、浴室リモコン、台所リモコン、また増設リモコンのいずれからでも操作できます。

給湯温度を調節するときの注意

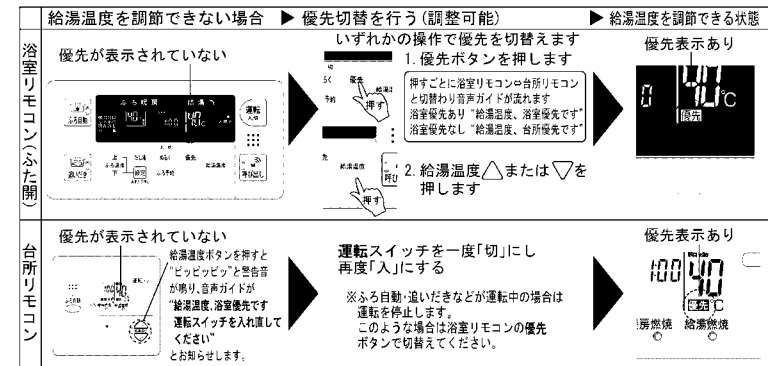
❗ ご注意ください

●60°C、55°C、60°Cに給湯温度を設定するとチャイムが鳴り、音声ガイドが“熱い温度にセットされました” 注意してください”とお知らせします。

🙏 お願い

- ふろ自動運転のお湯張り中（追いだし中）、たし湯、ぬるく運転中は、台所リモコンの給湯温度△または▽ボタンや、浴室リモコンの給湯温度△または▽ボタンを押すと“ピピピピ”と警告音が鳴り、給湯温度の設定はできません。
- 55°C以下の温度でシャワーや給湯を使っているときは、やけど防止のため60°Cには設定変更ができません。60°Cに設定しようとする“ピピピピ”と警告音が鳴って受け付けません。設定したいときは、一旦出湯を止めてから行ってください。また、設定するときには他の場所で給湯が使われていないか、よくご確認ください。
- 通常、給湯温度は運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯温度を60°Cに設定したときはやけど等の危険防止のため、再度運転スイッチを入れたとき自動的に55°Cにセットされます。
- はじめてお使いのときや停電時、電源プラグを抜いた場合など、30分以上通電が止まって再通電したときは、給湯温度表示が40°Cになります。再度セットし直してください。

■優先切替について 給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。また、優先を切替えることを「優先切替」といいます。

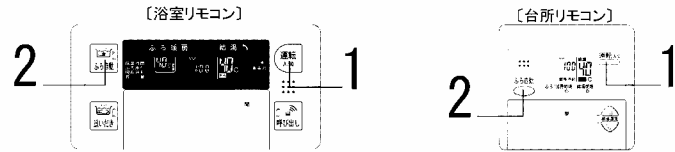


✖️

- 給湯優先切替時には、55°Cより高い設定温度にはなりません。優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60°Cだった場合、自動的に55°Cにセットされます。
- 浴室リモコン・台所リモコンの給湯優先切替時に、設定温度が50°C以上の場合 “熱い温度にセットされました注意してください”とお知らせします。音声はいずれかのスイッチやボタンを押すと、止まります。
- 別売の増設リモコン（138-3136型）を設置している場合。
・台所リモコンが優先のときは、増設リモコンも優先があります。
・増設リモコンと台所リモコンは連動しています。増設リモコンの運転スイッチを「入」にすると、増設リモコンと台所リモコンに優先表示され、増設リモコンでも給湯温度を設定できます。給湯温度は設定したリモコン側の温度になります。

自動でお風呂を沸かすには

はじめにお使いのときはふろ温度：40℃、ふろ水位：水位バー6（およそ36cm）、保温時間：4時間の設定です。
ふろの温度や水位、保温時間を変更したいときはP. 17～P. 18をご覧ください。



準備 浴槽の排水栓をして 備 ふたをします

①浴槽の排水栓をします。

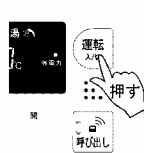


②浴槽のふたをします。



1 運転スイッチを 「入」 にします

【浴室リモコン】



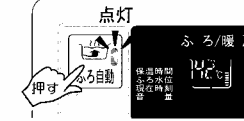
【台所リモコン】



リモコンの画面が表示 されます。

2 ふろ自動スイッチを押します

【浴室リモコン】



浴室リモコンではふろ自動ランプが赤で点灯し
以下の表示を繰り返します。

→ 消灯 →

【台所リモコン】



台所リモコンではふろ自動スイッチが赤で点 灯します。

音声ガイドが流れます。
“お湯張りを始めます おふろの栓はしま したか”

- 警告**
- おふろの沸かし上げ中や保温中は、突然循環より熱いお湯が出たり、循環口の周囲が熱くなっている ことがあるので注意する。やけどのおそれがあります。
 - 入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。

ご注意ください

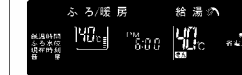
- 以下の場合は“もうすぐおふろに入れます”の音声ガイドが流れません。
 1. 予約運転でふろ自動運転を行ったとき。
 2. 残り湯があってふろ自動運転を行った際、現在のふろ温度が設定温度に近いが高いとき。
- 自動でお風呂を沸かしているとき停電になるとふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。 次の操作を行ってください。
運転スイッチを「入」にし、ふろ自動スイッチを押します。

自動でお風呂を沸かすには



2-1 お湯張りを開始します。

【浴室リモコン】



お湯張り中表示
【台所リモコン】



お湯張り中点灯

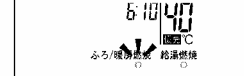
設定水位に近くなると、各リモコンから チャイムが鳴り、音声ガイドが流れます。 “もうすぐおふろに入れます”

2-2 お湯張りが終わると沸かし上げます。

【浴室リモコン】



沸かし上げ中表示
【台所リモコン】



沸かし上げ中点灯

設定された温度に沸き上がると、各リモコンからチャイムが鳴り、音声ガイ ドが流れます。
“おふろが沸きました”
給湯温度が50℃以上に設定されている 場合は浴室リモコンのみ音声ガイドが “熱い温度にセットされました 注 意してください”と流れます。

2-3 保温に入ります。

【浴室リモコン】



ふろ自動ランプが緑で点灯
【台所リモコン】



ふろ自動スイッチが緑で点灯

約15～30分の間隔でおふろを 沸かして保温します。 また、お湯が減ったら設定水位ま でたし湯し、設定ふろ温度まで沸 かします。保温時間が終了すると浴室リモコ ンのふろ自動ランプ、台所リモコ ンのふろ自動スイッチが消灯しま す。

おふろ沸かしを途中で停止したいときは

もう一度、ふろ自動スイッチを押します。
浴室リモコンのふろ自動ランプ、台所リモコンのふろ自動スイッチが消灯して、おふろ沸かしが停止します。

沸かし直しをするには

ふろ自動スイッチを押します。浴室リモコンのふろ自動ランプ、台所リモコンのふろ自動スイッチが点灯し て、おふろ沸かしを始めます。
おふろが沸くまでの状態は「ふろ自動運転」と同じですが残り湯の水位により浴槽水位が一定とならない 場合があります。

お願い

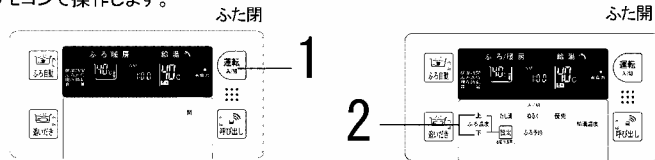
- 排水栓をし忘れると、ふろ自動運転中、浴室リモコンに“032”か“252”が点滅し運転が停止します。 この場合は、排水栓をして運転スイッチを「切」にし、3秒以上経過してから再度運転スイッチを「入」に してふろ自動運転を行ってください。

メモ

- ふろ自動運転のお湯張り中に台所や洗面所などでお湯を使うと、ふろ設定温度でお湯が出ます。
- ふろ自動運転のお湯張り中に、循環口からお湯が出たり止まったりすると共に浴室リモコンの給湯燃焼表示 (台所リモコンは給湯燃焼ランプ) がついたり消えたりすることは異常ではありません。
- 残り湯がある場合は、すぐにお湯張りを始めません。これは残り湯の水位を機器が確認するためで異常では ありません。
- 保温時のおふろ沸かしは、気温等により約15～30分の間隔で行います。

ふろ温度・保温時間・ふろ水位をセッするには

浴室リモコンで操作します。



ふろ温度の設定 工場出荷時には40°Cに設定されています。

1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開けふろ温度を設定します

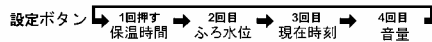


ふろ温度 Δ または ∇ ボタンを押してお好みの温度に設定します。
 Δ ボタンは温度が上がります。
 ∇ ボタンは温度が下がります。

ふろ温度は以下の12段階で設定できます。
 37 38 39 40 41 42
 43 44 45 46 47 48°C

| ご使用の目安 | |
|-----------|-----------|
| ぬるい | 標準 |
| 37°C~39°C | 40°C~42°C |
| 43°C | 44°C |

- お願い**
- 浴槽の種類や施工条件によって、水位を高めにセッするとあふれる場合があります。最初は、工場出荷時の設定で試して、そのときの実際の水位を確認してからお好みの水位に調節することをお勧めします。
 - 表示される温度と水位は、実際とは多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。なお、ふろ水位 (cm) は、循環口の中心が浴槽下面から15cmを目安にしています。
 - 設定は記憶されるので、次回からはセッする必要はありません。ただし、電源プラグを抜いたり停電などによって30分以上通電がない場合は、再セッが必要です。
 - 保温時間・ふろ水位の設定時に Δ または ∇ ボタンを押さないと約10秒後に確定となりますが、音声ガイドは流れません。
 - 設定ボタンを順に押して「保温時間」「ふろ水位」「音量」を続けてセッすることもできます。セッすると音声ガイドが「保温時間、ふろ水位、現在時刻、音量セッされました」と設定した項目についてお知らせします。
 - 上記のように続けてセッする場合、設定ボタンは以下のように操作します。



- 保温中でもふろ温度の設定を変更することができます。

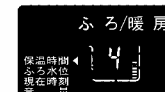
保温時間の設定 工場出荷時には4時間に設定されています。

1 運転スイッチ「入」を確認します



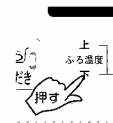
「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け設定ボタンを押します



設定ボタンを押し、 \triangleleft を保温時間の右側に表示させ、保温時間表示が点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。
 “保温時間です 上下ボタンで入力してください”

3 保温時間を設定します



Δ または ∇ ボタンを保温時間表示が点滅している間 (約10秒間) に押してください。
 Δ ボタンは保温時間が長くなります。再度設定ボタンを押すか、5秒以上何もスイッチやボタンを押さないと確定となります。音声ガイドが流れます。
 ∇ ボタンは保温時間が短くなります。再度設定ボタンを押すか、5秒以上何もスイッチやボタンを押さないと確定となります。音声ガイドが流れます。
 0 1 2 3 4 5 6 7 8 (時間)
 “保温時間、セッされました”
 ※保温しない場合は、“0”に設定してください。

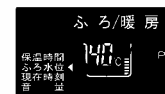
ふろ水位の設定 工場出荷時には水位バー6 (およそ36cm) に設定されています。

1 運転スイッチ「入」を確認します



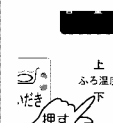
「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け設定ボタンを押します



設定ボタンを押し、 \triangleleft をふろ水位の右側に表示させ、水位バーが点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。
 “ふろ水位です 上下ボタンで入力してください”

3 ふろ水位を設定します



Δ または ∇ ボタンを水位バーが点滅している間 (約10秒間) に押してください。
 Δ ボタンは水位バーが増え水位が高くなります。再度設定ボタンを押すか、5秒以上何もスイッチやボタンを押さないと確定となります。
 ∇ ボタンは水位バーが減り水位が低くなります。再度設定ボタンを押すか、5秒以上何もスイッチやボタンを押さないと確定となります。音声ガイドが流れます。
 (水位につきまは下記水位表示をご参照ください) “ふろ水位、セッされました”

| 水位表示 | | | | | | | | | | | |
|-------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 水位バー | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| ふろ水位(およそcm) | 26 | 28 | 30 | 32 | 34 | 36 | 38 | 40 | 42 | 45 | 48 |

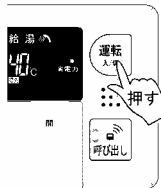
※ふろ水位は実際の水位と差が出ることがあります

チャイムや音声ガイドの音量を調節する

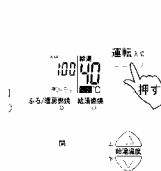
音量の設定 工場出荷時には3(大)に設定されています。

1 運転スイッチ「入」を確認します

〔浴室リモコン〕



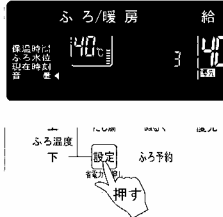
〔台所リモコン〕



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開け設定ボタンを押します

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕



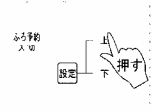
設定ボタンを押し、◀を音量の右側に表示させ、音量表示が点滅していることを確認します。
音声ガイドが流れます。
“音量です 上下ボタンで入力してください”

3 音量を設定します

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕



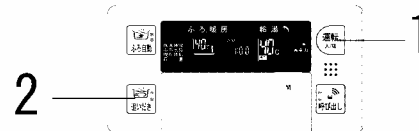
- ▲ または ▼ ボタンを音量表示が点滅している間(約10秒間)に押してください。
 - ▲ ボタンは音量が大きくなります。(最大音量は“3”)
 - ▼ ボタンは音量が小さくなります。(最小音量は“0無音”)
- 0(無音) ⇄ 1(小) ⇄ 2(中) ⇄ 3(大)
- 再度設定ボタンを押すか、5秒以上何もスイッチやボタンを押さないと確定となります。音声ガイドが流れます。
“音量、セットされました”



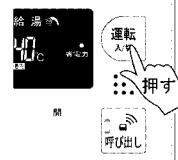
- 設定した音量は、運転スイッチを「切」にしても記憶されています。
- 設定時に ▲ または ▼ ボタンを押さないと約10秒後に確定となりますが、音声ガイドは流れません。
- 音量を無音に設定すると音声ガイドは流れません。ただし、浴室リモコンで呼び出しスイッチが押されたときには台所リモコンから呼び出し音声ガイドが流れます。
- 台所リモコンへの呼び出し音声の音量、スイッチやボタン操作時の“ピッ”という音、警告音“ピッピッピッ”の音は調節できません。

お風呂のお湯を熱くするには(追いだし)

浴槽のお湯がぬるくなったら、熱くすることができます。この機能を「追いだし」といいます。浴室リモコンで操作します。

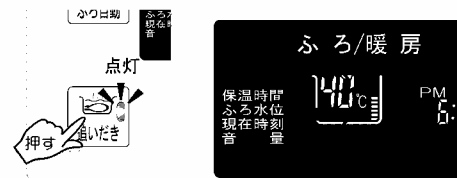


1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 追いだしスイッチを押します



追いだしランプ(橙)が点灯します。
■■■■ としばらくして、ふろ/暖房燃焼表示 🔥 が表示され追いだしを開始します。
■■■■ は以下の表示を繰り返します。
→■■■■→ →■■■■→ →消灯→ ■■■■
運転が終了すると追いだしランプが消え、ふろ/暖房燃焼表示 🔥 も消えます。

追いだし運転中に停止させるには

もう一度、追いだしスイッチを押します。
追いだしランプとふろ/暖房燃焼表示 🔥、■■■■ が消灯して、追いだし運転が停止します。



● 追いだしの操作をするときには、浴槽の循環口より上に湯(水)があることを確認する。



● 追いだしスイッチは長く(5秒以上)押さないでください。入浴中に追いだしスイッチを5秒以上押し続けると、長期間使用しない場合の機器の水を抜くための状態となります。(P. 29参照)浴室リモコンに「032」が点滅し運転を停止します。誤って押し続けた場合は運転スイッチを「切」にして、3秒以上経過してから再度「入」にしてください。

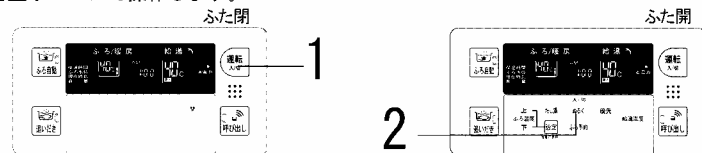


- 追いだしで停止の操作をしない場合は、現在温度+2°Cで沸き上げて自動的に停止します。ただし、沸き上げた温度(現在温度+2°C)が設定温度に達しない場合は設定ふろ温度まで沸き上げて自動的に停止します。
- 一度、追いだしをして自動停止し、もっと熱くしたいときは、もう一度追いだしスイッチを押してください。お好みの湯がけんになったら、追いだしスイッチを押して停止してください。
- ふろ自動運転のお湯張り中(追いだし中)は、追いだしスイッチを使用できません。押すと“ピッピッ”と警告音が鳴ります。
- 135-3500型シリーズ・135-3600型シリーズは熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出やすくなっています。

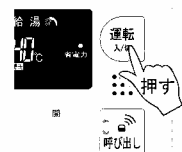
お風呂のお湯をぬるくするには

浴槽のお湯が熱くてぬるくしたい場合は、「ぬるく運転」が便利です。この機能では、自動的に水(約12ℓ)を入れて、かくはんを行います。

浴室リモコンで操作します。



1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開けぬるくボタンを押します



ぬるくが表示されます。

しばらくして、 が表示されぬるく運転を開始します。約12ℓの水を入れて、かくはんしてから自動停止します。

は以下の表示を繰り返します。

→ → 消灯 →

運転が終了するとぬるく表示が消え、 も消えます。

ぬるく運転中に停止させるには

もう一度、ぬるくボタンを押します。

ぬるく表示と が消灯して、ぬるく運転が停止します。

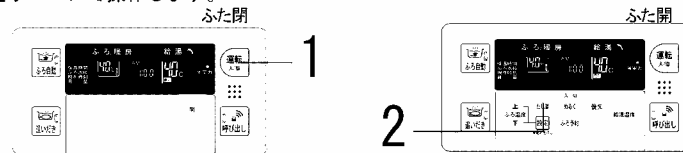
⚠️ ご注意ください

- ぬるく運転中に給湯栓(シャワーを含む)を開けると水が出できます。このとき給湯燃焼はしません。
- ぬるく運転では自動的に約12ℓの水を入れます。途中で湯がげんを確かめてください。
- もっとぬるくしたいときは、もう一度ぬるくボタンを押してください。
- ふろ自動運転のお湯張り中(追いだし中)はぬるくボタンを使用できません。ボタンを押すと“ピッピッ”と警告音が鳴ります。給湯燃焼表示 またはふろ燃焼表示 が消えてからぬるくボタンを押してください。お湯の使用中也ぬるくボタンを使用できません。

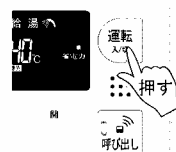
お風呂のお湯をたししたいときには

浴槽のお湯の量を増やしたいときには、「たし湯運転」があります。この機能では、自動的に「ふろ温度」設定のお湯を約24ℓ入れて、かくはんを行います。

浴室リモコンで操作します。



1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開けたし湯ボタンを押します



たし湯が表示されます。

給湯燃焼表示 と が表示され、たし湯運転を開始します。約24ℓの湯を入れて、かくはんしてから自動停止します。

は以下の表示を繰り返します。

→ → 消灯 →

運転が終了するとたし湯表示が消え、給湯燃焼表示 と も消えます。

たし湯運転中に停止するには

もう一度、たし湯ボタンを押します。

たし湯表示、給湯燃焼表示 、 が消灯して、たし湯運転が停止します。

⚠️ ご注意ください

- たし湯運転中は、給湯栓から出るお湯の温度がふろ設定温度になります。このとき、給湯温度の表示は変わりません。
- たし湯運転中の給湯温度は、ふろ温度となりますが給湯温度の表示は変わりません。その後、たし湯が終了すると表示の給湯温度に戻ります。このとき、給湯温度が50℃以上の場合にはチャイムが鳴り、音声ガイドが“熱い温度にセットされました。注意してください”とお知らせします。
- 給湯使用中に、たし湯を開始すると給湯温度はふろ設定温度になります。給湯設定温度に戻すには、たし湯終了後給湯を一旦停止してから、再度給湯してください。
- ふろ自動運転のお湯張り中(追いだし中)は、たし湯ボタンを使用できません。ボタンを押すと“ピッピッ”と警告音が鳴ります。

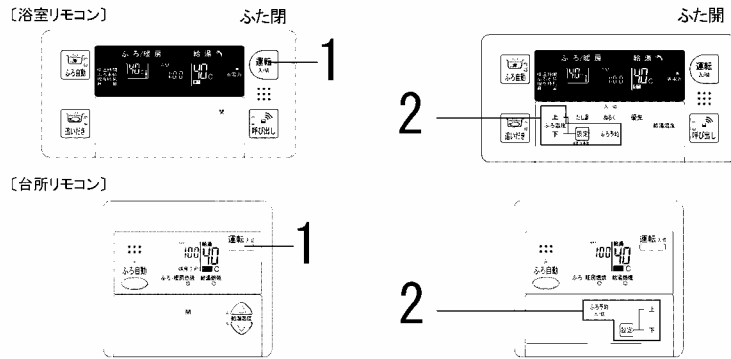
お風呂が沸く時刻を予約するには

お風呂の沸き上がり時間を予約することができます。
予約の設定は予約時刻の60分前までに設定してください。

- 予約運転を行うときは、毎回以下のことを確認してください。
- 浴槽の排水栓および、お風呂のふたがしてあることを確認。
 - 現在時刻が合っているかを確認。(P. 12参照)
 - 予約時刻を確認。(P. 24参照)
 - ふろ温度・保温時間・ふろ水位の設定を確認。(P. 17~18参照)

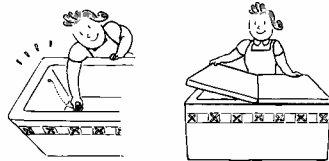


■予約運転を開始する お風呂の沸き上がり完了する時刻をセットし、予約を開始します。

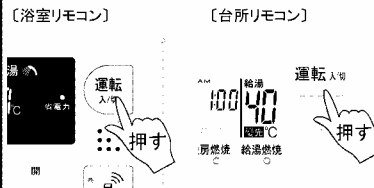


準備 浴槽の排水栓をしてふたをします

①浴槽の排水栓をします。 ②浴槽のふたをします。

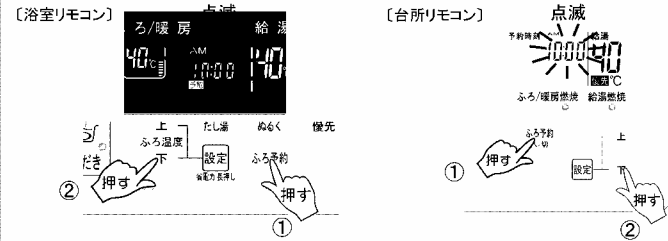


1 運転スイッチ「入」を確認します。



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 リモコンのふたを開けふろ予約ボタンを押し、予約時刻を設定します



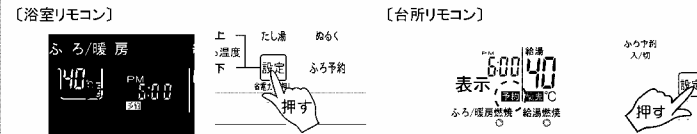
予約時刻表示が点滅していることを確認します。音声ガイドが流れます。
“予約時刻を変更する場合は、上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください”

▲または▽ボタンを予約時刻表示が点滅している間(約10秒間)に押してください。

▲ボタンは予約時刻が進みます。

▽ボタンは予約時刻が戻ります。

※ボタンを押し続けると連続的に数字が変わります



予約時刻の設定後、設定ボタンを押すか、5秒以上何もスイッチやボタンを押さないでいると確定となります。

音声ガイドが流れます。

“予約されました お風呂の栓はしましたか”

予約表示され、予約時刻表示が点滅から点灯に変わり現在時刻を表示します。

予約をキャンセルしたいときは

もう一度、ふろ予約ボタンを押します。音声ガイドが流れます。“予約、解除されました”
リモコンの予約表示が消えて予約が取消されます。

すでにお風呂沸かしが始まってふろ自動ランプが点灯しているときにはふろ自動スイッチを押してください。運転が停止します。



- 出荷時の予約時刻はPM6:00になっています。
- 設定時に▲または▽ボタンを押さないでいると約10秒後に確定となりますが、音声ガイドは流れません。
- 予約時刻は記憶されますので毎回セットする必要はありません。
- 浴室リモコンに予約表示が表示されたあとは、運転スイッチを「切」にしても予約運転は行われます。また予約「入」かつ、運転「切」の状態でもふろ予約ボタンを押すと予約は解除されます。
- 停電や電源プラグを抜いた場合など30分以上通電が止まり、再通電したあとは工場出荷時の初期設定になります。必ず再セットをしてください。
- 予約運転の沸き上がり完了時刻は、気温により多少前後する場合があります。

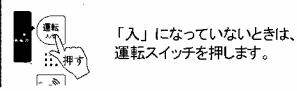
省電力機能について

浴室リモコンと台所リモコンの画面表示を、何も操作しないときは表示しないようにするのが「省電力モード」です。このモードを使うことで電気の節約になります。浴室リモコンで操作します。



※出荷時は省電力モードは「入」になっています。

運転スイッチ「入」と省電力ランプの点灯を確認します



省電力モードの解除

省電力モード中の場合は、リモコンの画面を通常表示させます。(表示の方法は下記参照)

浴室リモコンのふたを開け、設定ボタンを5秒以上押し続けます。音声ガイドが流れます。“省電力、解除されました”

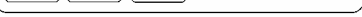
[浴室リモコン] 省電力ランプが消灯します
[台所リモコン・増設リモコン] 省電力表示が消えます



※運転スイッチの「入」/「切」では省電力モードは解除されません。

省電力モード中に画面を表示させるには給湯栓を開ける、もしくは、各スイッチおよびボタンを押すと画面が表示されます。

ご注意ください これらのスイッチを押すと省電力モードが解除されると同時に運転が開始します。



省電力モードの設定

浴室リモコンのふたを開け、設定ボタンを5秒以上押し続けます。音声ガイドが流れます。“省電力、セットされました”

[浴室リモコン] 省電力ランプが点灯します
[台所リモコン・増設リモコン] 省電力が表示されます



その後、5分以上何もスイッチおよびボタン操作がない場合

浴室リモコン→ 省電力ランプ以外のすべての画面表示が消えます。
台所リモコン→ 液晶表示画面のライトが消えます。

※下記の場合、省電力モードでも画面表示します。
・お湯を使用しているとき
・給湯温度が50℃以上に設定されているとき
・ふろ自動運転中および保温中(最長8時間)

お願い ●省電力機能で画面が消えている(台所リモコンでは液晶表示画面のライトが消えている)ときに給湯・シャワーを使うときは、一度画面表示をさせて給湯温度を確認してからご使用ください。
●ふろ自動・追いだき・呼び出しスイッチ以外のボタンは、画面が消えている状態では受け付けません。ふろ自動・追いだき・呼び出しスイッチ以外のボタンを使用するときは、上記の方法で一度画面を表示させてから行ってください。

メモ ●省電力機能で画面が消えている(台所リモコンでは液晶表示画面のライトが消えている)とき給湯の優先が浴室リモコンにあって台所リモコンに優先を移す場合は、次の手順で行ってください。
①台所リモコンの運転スイッチを押して液晶表示画面のライトを点灯させ、もう一度運転スイッチを押して運転「切」にします。
②再度、運転スイッチを押して運転「入」にします。台所リモコンが優先となります。

暖房運転をするには

システムエアコン、放熱器、床暖房などを使用できます。操作はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

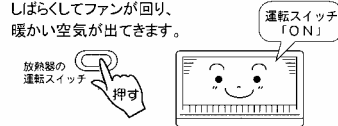
■放熱器の運転/停止

〈放熱器に運転スイッチがあり、信号線を接続している場合〉

放熱器の運転

放熱器の運転スイッチ「入」にします。

浴室リモコンのふろ/暖房燃焼表示と台所リモコンのふろ/暖房燃焼ランプが点灯します。しばらくしてファンが回り、暖かい空気が出てきます。



放熱器の停止

放熱器の運転スイッチ「切」にします。

浴室リモコンのふろ/暖房燃焼表示と台所リモコンのふろ/暖房燃焼ランプが消灯します。放熱器の運転が停止します。



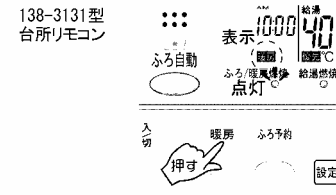
■暖房スイッチ付台所リモコンでの運転/停止

〈放熱器に運転スイッチがない場合や信号線を接続していない場合〉

放熱器の運転

放熱器のバルブを開け、台所リモコンの暖房ボタンを押します。

浴室リモコンのふろ/暖房燃焼表示と台所リモコンの暖房表示およびふろ/暖房燃焼ランプが点灯します。

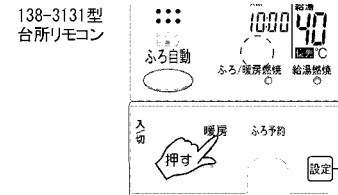


※運転スイッチが「切」の場合でも暖房表示およびふろ/暖房燃焼ランプが点灯します。

放熱器の停止

台所リモコンの暖房ボタンを押します。放熱器のバルブを閉じます。

浴室リモコンのふろ/暖房燃焼表示と台所リモコンの暖房表示およびふろ/暖房燃焼ランプが消灯します。



- リモコンの運転スイッチの「入」/「切」に関係なく暖房運転できます。
- 放熱器に運転スイッチがない場合は、暖房スイッチ付の台所リモコンをご使用ください。
- 放熱器の運転方法・温度調節の方法については、放熱器の取扱説明書をご覧ください。
- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開けたままにしておいてください。
- 135-3500型シリーズ・135-3600型シリーズは熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出やすくなっています。

暖房運転をするには

■浴室予備暖房について

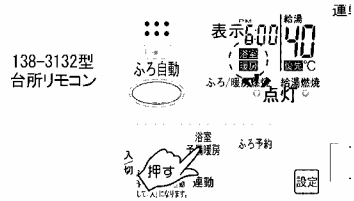
浴室予備暖房ボタンがついているリモコンで使用できる機能です。
台所から、浴室暖房乾燥機の運転「入」/「切」ができます。

■浴室予備暖房スイッチ付き台所リモコンでの運転/停止

浴室暖房乾燥機の運転

台所リモコンの
浴室予備暖房ボタンを押します。

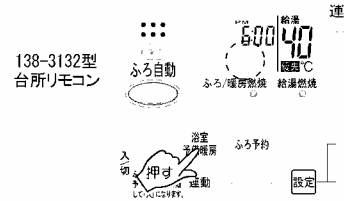
浴室リモコンのふろ/暖房燃焼表示 \triangleleft と
台所リモコンの浴室・暖房表示および
ふろ/暖房燃焼ランプが点灯します。
しばらくすると、浴室暖房乾燥機が動き
はじめます。



浴室暖房乾燥機の停止

台所リモコンの
浴室予備暖房ボタンを押します。

浴室リモコンのふろ/暖房燃焼表示 \triangleleft と
台所リモコンの浴室・暖房表示および
ふろ/暖房燃焼ランプが消灯します。
浴室暖房乾燥機の運転が停止します。



※運転スイッチが「切」の場合でも浴室・暖房表示およびふろ/暖房燃焼ランプが点灯します。
※電源投入時、機器が浴室暖房乾燥機の確認をするまで浴室予備暖房ボタンを受け付けられない場合があります。

- リモコンの運転スイッチ「入」/「切」に関係なく浴室予備暖房運転できます。
- 浴室暖房乾燥機の温度調節・運転時間等については、浴室暖房乾燥機の取扱説明書に従ってください。
- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開けたままにしておいてください。
- 浴室暖房乾燥機付属のリモコンで暖房（浴室予備暖房）運転を行っているときに、138-3132型の台所リモコンの浴室予備暖房ボタンを押すと運転が停止します。
- 浴室暖房乾燥機で暖房（浴室予備暖房）以外の運転を行っているときに、138-3132型の台所リモコンの浴室予備暖房ボタンを押すと、暖房（浴室予備暖房）運転に切り替わりますので注意してください。
- 135-3500型シリーズ・135-3600型シリーズは熱効率がいため、排気口から白い湯気が出やすくなっています。

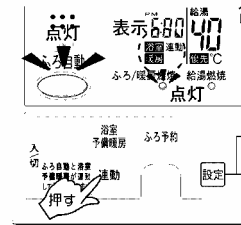
■連動について

連動ボタンがついているリモコンで使用できる機能です。
ふろ自動運転と浴室予備暖房運転を行います。

台所リモコンの
連動ボタンを押します。

138-3132型
台所リモコン

ふろ自動スイッチが赤で点灯します。
画面に浴室・暖房・連動表示が表示され
ふろ/暖房燃焼ランプが点灯します。
音声ガイドが流れます。
“お湯張りを始めます おふろの栓はしましたか”
ふろ自動運転と浴室暖房乾燥機の運転が始まります。



■暖房静音について

暖房静音は、暖房運転音を通常より静かにする機能です。この際、暖房能力は少し低下します。
一度、暖房静音をセットしておけば、運転「切」の状態でも、毎回暖房静音運転になります。ただし、停電や電源プラグを抜くなどして一度通電が停止したときは、再びセットが必要です。

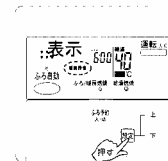
台所リモコンで操作します。

■暖房静音の設定/解除 工場出荷時にはOFFに設定されています。

暖房静音の設定



設定ボタンを3回押し、 \triangleleft が
暖房静音の右側に点灯して
表示が点滅していることを確
認します。
音声ガイドが流れます。
“静音です 上下ボタン
で入力してください”



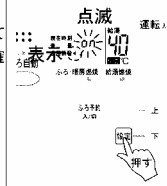
△または ∇ ボタンでON表
示を選択して、再度設定ボタ
ンを押すか、5秒以上何もス
イッチやボタンを押さないで
いると確定となります。
音声ガイドが流れます。
“静音、セットされました”

※運転スイッチが「切」の場合でも暖房静音表示が点灯します。

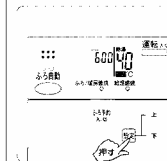


- リモコンの運転スイッチ「入」/「切」に関係なく暖房静音の設定ができます。
- 暖房静音運転中に追っだき運転やふろ自動運転を行うと、暖房運転音が静かにならない場合がありますが異常ではありません。

暖房静音の解除



設定ボタンを3回押し、 \triangleleft が
暖房静音の右側に点灯して
表示が点滅していることを確
認します。
音声ガイドが流れます。
“静音です 上下ボタン
で入力してください”



△または ∇ ボタンでOFF表
示を選択して、再度設定ボタ
ンを押すか、5秒以上何もス
イッチやボタンを押さないで
いると暖房静音表示が消え
解除となります。
音声ガイドが流れます。
“静音、解除されました”

冬期の凍結予防をするには

給湯・ふろ

■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき（外気温 -15℃、有風 5 m / 秒程度まで）

この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターと、自動的に浴槽の水（湯）を循環して機器内や追いだし配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。そのため外気温 -15℃程度までは、機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。これらの装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。寒波などで特に寒くなりそうなときは、給湯栓の水を流す方法または、機器の水を抜く方法で凍結予防をしてください。

- お願い**
- 自動凍結予防装置は電源プラグを抜いたり、電源ブレーカーを切ると作動しません。絶対に電源プラグは抜かないでください。
 - 機器内の凍結は予防できますが、配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材で被覆してください。
 - 凍結予防装置で凍結予防をしているときは、浴槽の残り湯を捨てないで、そのままにしてください。
 - 次の朝、お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。

■給湯栓の水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

- 1 運転スイッチを押してリモコンを「切」にします。
- 2 ガス栓を閉じます。
- 3 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc（牛乳びん2本くらい）の水を流し続けます。流量が不安定なことがありますので、念のため30分程後にもう一度流量を確認してください。

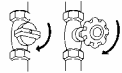
- ×E**
- 給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。

■機器内の水を抜く方法

入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

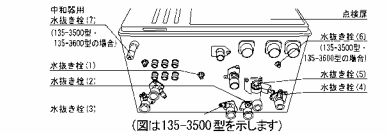
- 注意**
- 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

- 1 ガス栓・給水元栓を閉じます。
- 2 浴槽の水を排水します。
- 3 浴室リモコンの運転スイッチを「入」にし、追いだしスイッチを5秒間押し続けます。
- 5 水抜き栓（1）（2）（3）（4）（5）を外します。135-3500型シリーズ・135-3600型シリーズは、水抜き栓（6）（7）も外します。



※浴槽の水が排水されていないと浴室リモコンに「F032」が点滅します。再度、浴槽の水が排水されているか確認してください。

- 4 全ての給湯栓を全開にします。



水抜き栓（7）の外しかた
水抜き栓（7）は、中のゴムパッキンを外して、水抜き栓にはめ込んでください。

- 6 必ず電源プラグを抜きます。
以上の操作で機器内の水は排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

- お願い**
- 水抜きをするとき床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
 - 水抜きをしたあとは、浴槽へ水を流し込まないでください。

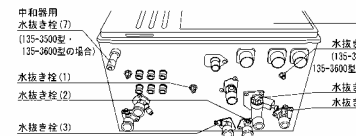
凍結を予防するための操作について説明します。

給湯・ふろ

■機器内の水を抜いたあと、再使用するとき

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときには次の操作をしてください。

- 1 水抜き栓（1）（2）（3）（4）（5）を閉じます。135-3500型シリーズ、135-3600型シリーズは、水抜き栓（6）（7）も閉じます。
- 2 全ての給湯栓を閉じます。
- 3 給水元栓を開け、水漏れがないことを確認し、ガス栓も開けます。
- 4 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 5 リモコンのふろ温度・ふろ水位・保温時間・給湯温度・現在時刻・予約時刻等を設定し直します。（P.12～参照）
- 6 機器の水抜きを行った後におふろを沸かすときは、ふろ自動運転を行い、浴槽にお湯張りしてください。（おふろを沸かしながら自動的にポンプに呼び水するためです）



（図は135-3500型を示します）

- ×E**
- 再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

暖房

■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき（外気温 -15℃、有風 5 m / 秒程度まで）

この機器には、気温が下がってくると自動的に暖房タンクの水（湯）を循環して暖房運転（燃焼）し、暖房回路内の水を暖め凍結を予防します。回路内が暖まると暖房運転を停止します。通常は機器および放熱器の電源プラグをコンセントに差し込まれた状態にし、ガス栓を開いておけば凍結予防できます。凍結予防装置は運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。寒波などで特に寒くなりそうなときは、不凍液による方法または、機器の水を抜く方法で凍結予防をしてください。

- お願い**
- 方法は放熱器によって異なります。
 - 電源プラグがコンセントから抜けていたり、電源ブレーカーが切れていると作動しませんのでご注意ください。
 - この方法では、機器内の凍結は予防できても配管は凍結することがありますので、必ず保温材や電気ヒーターを巻くなどの措置をしてください。

- ×E**
- 135-3500型シリーズ・135-3600型シリーズは従来の製品と比べ、熱効率が高いため排気口から白い湯気が出やすくなっています。これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

■不凍液による方法

- 寒冷地では不凍液を使用してください。
- 暖房システムの凍結予防のために指定された不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は機器に悪影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 不凍液は、不凍液の取扱説明書に記載されている方法で正しく使用してください。

冬期の凍結予防をするには

■機器内の水を抜く方法 (不凍液が入っている場合、水抜き操作は行いません。)

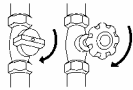
入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し、凍結予防します。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

注意 ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。
機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

●給湯・ふろの水抜き操作に引き続き暖房の水抜きを行う場合は、再度電源プラグを差し込みます。

まず機器内の水を抜きます

1 ガス栓・給水元栓を閉じます。



つぎに暖房回路内の水を抜きます

3 浴室リモコンの運転スイッチを「入」にし、追っただきスイッチを5秒間押し続けます。



2 水抜き栓 (1) (2) (3) を外します。



(図は135-3500型を示します)



(図は135-3600型を示します)

※水抜き栓から完全に水がでるまで10分位そのままにしてください。

4 完全に水がでたら、電源プラグを抜きます。



お願い ●暖房循環回路の水抜きを行った場合は、再び使用するときに水張り作業が必要です。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
●水抜きの操作をすると、機器本体だけでなく配管や放熱機内の水も出てきます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

凍結したとき

凍結したときは、給湯栓を開けても水がでてきません。

解凍するまで待つて、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

1 ガス栓・給水元栓を閉じます。

配管が破裂していた場合の水漏れを防止する目的です。

3 とまどき、給水元栓と給湯栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します。水が出てくれば使用できます。通水したら、機器および配管から水漏れがないことを確認してください。ガス栓を開けます。

2 リモコンの運転スイッチを「切」にします。

4 リモコンの運転スイッチを「入」にします。

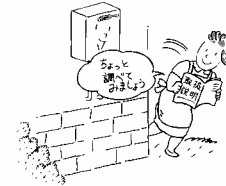
お願い ●取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損すると、高額の修理費(有料)がかかる場合があります。
●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破裂することがあります。解凍後は、全ての給湯栓を閉じてから水道メーターを見るなどして、水漏れしていないことをご確認ください。
●機器や配管が破損し、水漏れで壁を汚したり、階下を濡らした場合の修理費用はお客様の負担となります。

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント(月1回程度)

次の7つのポイントで点検してください。

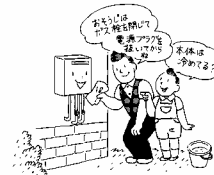
- 1 機器および配管から水漏れはありませんか?
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気はしませんか?
- 3 運転中に機器から異常音が聞こえませんか?
- 4 機器の外観に異常は見られませんか?
- 5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありますか?
また、整然とされていますか?
機器のまわりに雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
- 6 浴槽に循環口フィルターがついていますか?
- 7 積雪や屋根から落ちた雪により、給気口・排気口・給排気筒トップが塞がれていませんか?
給気口・排気口・給排気筒トップが塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には給気口・排気口・給排気筒トップの点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口・給排気筒トップを塞ぐおそれがあるときはお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。



■お手入れのしかた(月1回程度)

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、水に濡らしたやわらかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変色・変形する場合があります。



■定期点検のおすすめ(有料)

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。



分解禁止

●ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
- 台所リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないようにください。

お願い ●洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
●水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

長く使うには

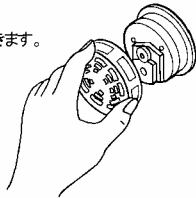
点検のポイント・お手入れのしかた

■循環口フィルターの掃除（こまめに掃除）

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、追っただけができなくなります。

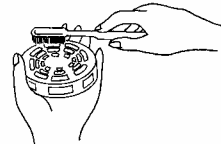
循環口フィルターの外し方

循環口フィルターを左に回して手前に引きます。



循環口フィルターを掃除する

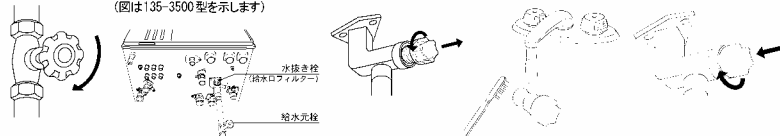
歯ブラシなどで洗います。



掃除後、循環口フィルターを元のように取り付けます。

■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に、新築や井戸ポンプの場合)
(図は135-3500型を示します)



- 1 給水元栓を閉じる。
- 2 給水接続口にある水抜き栓を外す。
- 3 歯ブラシなどで洗う。
- 4 元のように取り付ける。

■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後はガス栓を開いて、運転スイッチを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・異常音を感じられたときは、使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

お願い

- 循環口フィルターは必ず取り付けご使用ください。循環口フィルターを付けずに運転すると、ポンプ等の故障の原因となります。
- 給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水をうけてください。
- 再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

故障かな?と思ったら

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、追っただけができなくなります。

こんなとき

ここを調べてください

| | |
|--|--|
| リモコンの画面に 表示が出ない | 省電力の待機中ではありませんか (→25ページ) 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→11ページ) 停電していませんか (→5ページ) |
| アラーム番号「032」「252」「542」 が点滅し、動作しない | 給水元栓が全開になっていますか (→11ページ) 断水していませんか おふろの排水栓はしっかりはまっていますか (→15ページ) |
| 給湯燃焼表示(🔥)が表示しない (台所リモコンは、給湯燃焼ランプが 点灯しない) お湯が出ない | ガス栓が全開になっていますか (→11ページ) 給水元栓が全開になっていますか (→11ページ) 断水していませんか 給湯栓が十分開いていますか (→13ページ) 給水口フィルターが詰まっていますか (→33ページ) |
| 高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない | 給湯栓が十分開いていますか (→13ページ) 温度調節は適切ですか (→13ページ) 混合水栓やサーモミキシングバルブを使用し、高温のお湯が出ない場合は、リモコンの給湯温度を60℃にセットしてください |
| ふろ燃焼表示(🔥)が表示しない (台所リモコンは、ふろ燃焼ランプが 点灯しない) | ガス栓が全開になっていますか (→11ページ) 浴槽に水が入っていますか |
| おふろ使用中に消火した | ガス栓が全開になっていますか (→11ページ) 設定温度が低過ぎませんか (→17ページ) |
| 浴槽の水があつい(ぬるい) | ふろ温度のセットは適切ですか (→17ページ) |
| 浴槽の水が少ない(多い) | ふろ水位のセットは適切ですか (→18ページ) |
| 暖房がきかない(ききが悪い) | ガス栓が全開になっていますか (→11ページ) 放熱器の温度設定は適切ですか 床暖房は暖まるまでに時間が掛かる場合があります |

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

長く使えばなるかな

故障かな?と思ったら

■こんな時は故障ではありません

| 現象 | 点検項目 |
|-------------------------------|---|
| 給湯栓を絞らずに水になった | この機器は通水量が約3.5ℓ/分以下になったときには消火します。 |
| 夏期水温が高いとき 低温のお湯が出ない | 夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとするとき、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。 |
| お湯が白く濁って見える | これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ヒール、サイター等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。 |
| 浴槽、洗面台が青く見える | 湯アカが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。掃除はこまめに行ってください。 |
| 寒い日排気口から白い湯気が出る | 外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。※135-3500型シリーズ・135-3600型シリーズは、熱効率が高いため、白い湯気が出やすくなっています。 |
| 冬期など寒いとき追いだきのポンプが自動的に動く | 凍結破損予防のため、ポンプが自動運転を行います。 |
| 給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない | 機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。 |
| 出湯停止後しばらくファンの回転音がする | 再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。 |
| ふろ自動スイッチを押した後お湯入れがときどき停止する | 浴槽の中に正確にお湯入れをするための動作です。 |
| 運転終了後もしばらくポンプが回る | 「ぬるく」「ふる自動」「追いだき」「たし湯」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。 |
| 時計表示が合っていない | 30分以上の停電後、再通電すると表示画面がAM1:00になります。なお、ふろ水位・温度設定・予約時刻・保温時間等も初期状態に戻りますので再設定してください。 |
| 保温中ときどきポンプが回る | 浴槽のお湯の温度を検知するためおおよそ15〜30分間隔で回ります。 |
| ときどき水抜き栓から水が出る | 水抜き栓がしっかり閉じていないと水漏れします。給湯側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかかえています。圧力を逃すために湯(水)が出る場合があります。 |
| 給湯栓を開けたときお湯の量が変動する | 湯温を安定させるために自動的に湯量調整しています。すぐに湯量は安定します。 |
| 給湯使用中にお湯の量が変化 | お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、「ぬるく」「ふる自動」「追いだき」「たし湯」運転をすると、お湯の量が減る場合があります。 |
| 暖房ポンプがときどき自動的に回る | エア抜きをするためと、ポンプの固着を防止するための機能ですので故障ではありません。 |
| おふろを使用していないのに浴槽の循環口よりお湯(水)が出る | 浴槽のお湯を排水したあと、ふろ配管内の残り湯を流し出す機能が働く、循環口からお湯(水)が出ます。 |


以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときは
お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

- 不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転が停止します。
- アラーム番号が表示、点滅したときは、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。そのときは、表示されているアラーム番号もお知らせください。

| アラーム番号 | 内容 | 処置方法 | 使用状態 | アラーム番号 | 内容 | 処置方法 | 使用状態 |
|--------|----------------|--------------|-----------|--------|-----------------|--------------|--------------|
| 002 | ガス供給なし(管凍結)異常 | 凍結を解除してリセット | 点滅 | 433 | 給湯水位検出異常 | 水位自動・追いだき・復帰 | ふろ自動・追いだき・復帰 |
| 011 | 給湯60分以上連続使用 | 給湯栓を閉じてリセット | 点滅 | 502 | 熱動弁異常 | 追いだき | 追いだき |
| 030 | 未対応ガス種選択 | 処理を依頼する | 点滅 | 510 | 元ガス電磁弁故障 | 追いだき | 追いだき |
| 032 | 進捗時間異常 | 進捗時刻を調整しリセット | ふる自動・追いだき | 511 | 給湯ガス電磁弁故障 | 追いだき | 追いだき |
| 101 | 給湯自己診断能力ダウン | 処理を依頼する | 追いだき | 513 | 暖房ガス電磁弁故障 | 追いだき | 追いだき |
| 103 | 暖房自己診断能力ダウン | 処理を依頼する | 追いだき | 542 | 圧力開閉異常 | 追いだき | 追いだき |
| 111 | 給湯側点火不良 | ガス検知器確認 | ふる自動・追いだき | 543 | 燃焼圧異常 | 追いだき | 追いだき |
| 113 | 暖房側点火不良 | ガス検知器確認 | ふる自動・追いだき | 562 | 注湯電磁弁異常 | 追いだき | 追いだき |
| 121 | 給湯側点火不良 | ガス検知器確認 | ふる自動・追いだき | 582 | ソーラー切替異常 | 追いだき | 追いだき |
| 123 | 暖房側点火不良 | ガス検知器確認 | ふる自動・追いだき | 611 | 給湯燃焼ファン回転異常 | 追いだき | 追いだき |
| 140 | 望みどき安全装置作動 | 追いだき | 追いだき | 613 | 暖房燃焼ファン回転異常 | 追いだき | 追いだき |
| 143 | 元ガス電磁弁異常 | 追いだき | 追いだき | 623 | 暖房ポンプ異常 | 追いだき | 追いだき |
| 177 | 暖房側点火不良 | ガス検知器確認 | ふる自動・追いだき | 700 | 凍結破損 | 追いだき | 追いだき |
| 252 | ふろ水流SW異常 | 追いだき | 追いだき | 701 | 給湯ガス比例制御異常 | 追いだき | 追いだき |
| 293 | 中和器異常 | 追いだき | 追いだき | 703 | 暖房ポンプ駆動異常 | 追いだき | 追いだき |
| 311 | 出湯温サーモスタット異常 | 追いだき | 追いだき | 711 | 給湯ガス電磁弁故障 | 追いだき | 追いだき |
| 312 | ふろ温サーモスタット異常 | 追いだき | 追いだき | 713 | 暖房ガス電磁弁故障 | 追いだき | 追いだき |
| 319 | 暖房サーモスタット異常 | 追いだき | 追いだき | 721 | 給湯センサー・ガス不足異常 | 追いだき | 追いだき |
| 321 | 入水温サーモスタット異常 | 追いだき | 追いだき | 723 | 暖房センサー・ガス不足異常 | 追いだき | 追いだき |
| 323 | 凍結予防サーモスタット異常 | 追いだき | 追いだき | 740 | 浴室リモコン通信異常 | 追いだき | 追いだき |
| 327 | 混合温サーモスタット異常 | 追いだき | 追いだき | 750 | 浴室リモコン通信異常 | 追いだき | 追いだき |
| 332 | ソーラー戻サーモスタット異常 | 追いだき | 追いだき | 750 | 暖房リモコン通信異常 | 追いだき | 追いだき |
| 333 | 暖房低温サーモスタット異常 | 追いだき | 追いだき | 760 | インテリジェントバース通信異常 | 追いだき | 追いだき |
| 363 | 中和器サーモスタット異常 | 追いだき | 追いだき | 901 | 給湯・湯量異常 | 追いだき | 追いだき |
| 391 | 給湯サーモスタット異常 | 追いだき | 追いだき | 920 | 中和器異常 | 追いだき | 追いだき |
| 393 | 暖房サーモスタット異常 | 追いだき | 追いだき | 930 | 中和器異常 | 追いだき | 追いだき |
| 422 | 注湯センサー異常 | 追いだき | 追いだき | 991 | 給湯自己診断異常 | 追いだき | 追いだき |
| 432 | 水圧センサー異常 | 追いだき | 追いだき | 993 | 暖房自己診断異常 | 追いだき | 追いだき |

リセット操作 運転スイッチを一度「切」にし、3秒以上経過してから、運転スイッチを「入」にする。

番号によっては、給湯やふろ温度表示部に、補足の番号が出る場合があります。ご連絡のときは、アラーム番号とあわせてお知らせください。給湯側のアラーム、異常停止、警告表示の場合は給湯温度表示部にアラーム番号と同時に点滅します。その他のアラーム、異常停止、警告表示の場合はふろ温度表示部にアラーム番号と同時に点滅します。



- こんな場合には安全装置が働きます ()はアラーム番号
- 寒いとき、機器の電気ヒーターが働き機器内の凍結を防止します。……凍結予防装置
 - バーナーが正常に燃焼しないとき作動し、ガスが自動的に停止します。(121・123)……立消え安全装置
 - 電気回路に漏電が生じた場合に電気を停止します。……漏電安全装置
 - 給水されていないのに燃焼している場合にガスを止めます。(721・723) 残火安全装置
 - 機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。(140)……過熱防止装置
 - 機器内の水圧が異常に上昇した場合に機器の損傷を防止します。……過圧防止安全装置

- ⚠ご注意ください
- “290”“920”“930”は中和器に関するアラームですのでこれらのエラーが出ましたら、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
 - “920”は中和器交換警告なので中和器の交換をしてください。機器はしばらく使用できますが、リモコンのアラームは点滅し続けます。点滅時は、リモコンの給湯温度が表示されませんので、湯温を確かめてから使用してください。
 - “930”が表示されると、機器の使用はできません。中和器の交換をしてください。
 - アラーム番号“101”のときは自己診断機能により給湯能力がさがります。(例えば24号又は27号から約12号に)使用はできませんが十分な給湯能力が出ない状態ですので修理を依頼してください。(自己診断機能とは、機器のガスの燃焼が異常になった場合にその燃焼を正常にしようとする機能をいいます。自己診断機能が働いても燃焼が正常にならない場合は自動的に運転を停止します。)

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 34～36ページの「故障かな?と思ったら」の項を確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡してください。
- アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。
 - (1)氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2)品名(例)135-0300型
(ガスの種類例えば13A)
 - (3)現象(故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
 - (4)訪問ご希望日

保証について

- この給湯暖房用熱源機には保証書が付いています。必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後10年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1)ガス栓を閉じます。
 - (2)給水元栓を閉じます。
 - (3)機器の水抜きを行います。
(水抜き方法は、29・31ページを参照してください)
 - (4)電源プラグを抜きます。

仕様一覧

〔仕様表〕

| 項目 | 内容 | | | | |
|-----------------|---|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 品名 | 135-4300型 135-4400型 | 135-4302型 135-4402型 | 135-4304型 135-4404型 | 135-4305型 135-4605型 | 135-4306型 135-4406型 |
| 型式名 | GH-1642W | GH-1642T | GH-1642Y | GH-1642B | GH-1642U |
| 外形寸法(mm)/質量(kg) | 幅480×奥行250×高さ750/38 | | | | |
| 給湯方式 | 先止め式 | | | | |
| 暖房方式 | 温水循環方式 | | | | |
| 給排気方式 | 屋外強制排気方式 | | | | |
| 設置方式 | 屋外設置形 | | | | |
| 点火方式 | 給湯・暖房 AC100V連続放電式(ダイレクト着火) | | | | |
| 水圧 | 100～500kPa(1.0～5.0kgf/cm ²) | | | | |
| 最低作動水圧 | 10kPa(0.1kgf/cm ²) | | | | |
| 給湯量 | 3.5ℓ/分 | | | | |
| 暖房量 | 0ℓ/分以上(締切り使用可) | | | | |
| 消費電力 | 135-4300, 4304, 4400, 4404型: 350W | | 左記以外: 390W | | |
| 消費電力 | 135-4300, 4304, 4400, 4404型: 415W | | 左記以外: 440W | | |
| ガス | 20A(R3/4オネジ) | | | | |
| 給水・給湯 | 15A(R1/2オネジ) | | | | |
| 低温往き | 135-4300, 4302, 4304, 4305, 4306型: CHジョイント(6P) 135-4400, 4402, 4404, 4405, 4406型: QF16ジョイント | | | | |
| 高温往き | QF16ジョイント | | | | |
| 戻り | QF16ジョイント | | | | |
| ふろ | QF16ジョイント | | | | |
| オーバーフロー | 15A(R1/2オネジ) | | | | |
| 電源 | 本体電源 AC100V(50/60Hz) 浴室リモコン2心、台所リモコン2心 | | | | |
| 安全装置 | ファン回転検出装置(回転検出方式) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 立消え安全装置(フレームロッド方式) 漏電安全装置(漏電リレー) 残火安全装置(バイメタル式) 誘導電保護装置(サージアブソーバー) 過圧防止安全装置(スプリング式) 凍結予防装置(電気ヒーター+ポンプ運転) 空だき安全装置(バイメタル式) 過電流安全装置(ガラス管ヒューズ) 空だき防止装置(水量センサー+水流スイッチ) 沸騰防止装置(バイメタル) | | | | |

〔能力表〕

| 使用ガス | 1時間あたりのガス消費量kW{kcal/h} | | 出湯能力(最大)ℓ/分 | | 出湯能力kW{kcal/h} | | ガス接続 | |
|------|------------------------|----------------|----------------|--------------|----------------|-------------|--------------|---------------|
| | 給湯・暖房 同時使用 | 給湯(最大) | 暖房 | 水温+ 25℃上昇 | 水温+ 40℃上昇 | 追いだし | | 暖房 |
| 都市ガス | 13A 52.1(44.800) | 34.9(30.000) | 17.2(14.800) | 16.0 | 10.0 | 8.72(7.500) | 14.0(12.000) | 20A (R3/4) |
| LPガス | 52.2(3.73kg/h) | 35.0(2.50kg/h) | 17.2(1.23kg/h) | 16.0 | 10.0 | 8.72(7.500) | 14.0(12.000) | |

- ◎ ガス、JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
- ◎ 出湯能力は、水圧200kPa(2kgf/cm²)のときで、温度を高く設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
- ◎ 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

仕様一覧

〔仕様表〕

| 項目 | 内容 | | | | | |
|-----------------|------------------------|--|------------------------|------------------------|------------------------|-----------|
| 品名 | 135-0300型 135-0400型 | 135-0302型 135-0402型 | 135-0304型 135-0404型 | 135-0305型 135-0405型 | 135-0306型 135-0406型 | 135-0307型 |
| 型式名 | GH-2442W | GH-2442T | GH-2442Y | GH-2442B | GH-2442U | GH-2442TF |
| 外形寸法(mm)/質量(kg) | 幅480×奥行250×高さ750/38 | | | | | |
| 種類 | 給湯方式 | 先止め式 | | | | |
| | 暖房方式 | 温水循環方式 | | | | |
| 給排気方式 | 給排気方式 | 屋外強制排気方式 | | | | 屋外強制給排気方式 |
| | 設置方式 | 屋外設置形 | | | | |
| 設置方式 | AC100V連続放電式(ダイレクト着火) | | | | | |
| 使用水圧 | 使用水圧 | 100~500kPa(1.0~5.0kgf/cm ²) | | | | |
| | 最低作動水圧 | 10kPa(0.1kgf/cm ²) | | | | |
| 最低作動水 | 給湯 | 3.5ℓ/分 | | | | |
| | 暖房 | 0ℓ/分以上(締切り使用可) | | | | |
| 消費電力 | 定格 | 135-0300, 0400型:350W | | 左記以外:390W | | |
| | 凍結予防作動時 | 135-0300, 0400型:415W | | 左記以外:440W | | |
| 接続 | ガス給湯 | 20A(R3/4オネジ) | | | | |
| | 給水・給湯 | 20A(R3/4オネジ) | | | | |
| | 低温往き | 135-0300, 0302, 0304, 0305, 0306型, 0307型: CHジョイント(BP) 135-0400, 0402, 0404, 0405, 0406型: QF16ジョイント | | | | |
| | 高温往き | QF16ジョイント | | | | |
| | 戻り | QF16ジョイント | | | | |
| 連続 | ふろ | QF16ジョイント | | | | |
| | オーバーフロー | 15A(R1/2オネジ) | | | | |
| 電気 | 本体電源 | AC100V(50/60Hz) | | | | |
| | 浴室リモコン | 2心 | | | | |
| 安全装置 | ファン回転検出装置(回転検出方式) | 立消え安全装置(フレームロード方式) | | 過熱防止装置(温度ヒューズ) | | |
| | 立消え安全装置(フレームロード方式) | 残火安全装置(バイメタル式) | | 過電圧保護装置(サージアブソーバー) | | |
| | 残火安全装置(バイメタル式) | 過圧防止安全装置(スプリング式) | | 凍結予防装置(電気ヒーター+ポンプ運転) | | |
| | 過圧防止安全装置(スプリング式) | 空だき安全装置(バイメタル式) | | 過電流安全装置(ガラス管ヒューズ) | | |
| | 空だき安全装置(バイメタル式) | 空だき防止装置(水量センサー・水流スイッチ) | | 凍結防止装置(バイメタル) | | |
| | 空だき防止装置(水量センサー・水流スイッチ) | 過熱防止装置(温度ヒューズ) | | 過電圧保護装置(サージアブソーバー) | | |
| | 過熱防止装置(温度ヒューズ) | 過電圧保護装置(サージアブソーバー) | | 凍結予防装置(電気ヒーター+ポンプ運転) | | |
| | 過電圧保護装置(サージアブソーバー) | 凍結予防装置(電気ヒーター+ポンプ運転) | | 過電流安全装置(ガラス管ヒューズ) | | |
| | 凍結予防装置(電気ヒーター+ポンプ運転) | 過電流安全装置(ガラス管ヒューズ) | | 凍結防止装置(バイメタル) | | |
| | 過電流安全装置(ガラス管ヒューズ) | 凍結防止装置(バイメタル) | | | | |
| | 凍結防止装置(バイメタル) | | | | | |

〔能力表〕 ※135-0307型の使用ガスは、都市ガス13Aのみの仕様となります。

| 使用ガス 使用ガスグループ | 1時間あたりのガス消費量kW(kcal/h) | | 出湯能力(最大)ℓ/min | | 出湯能力kW(kcal/h) | | ガス 接続 | | |
|------------------|------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|------|-------------|--------------|---------------|
| | 給湯・暖房 同時使用 | 給湯(最大) | 暖房 | 水温+ 25℃上昇 | 水温+ 40℃上昇 | 追いだし | | 暖房 | |
| 都市 ガス | 13A | 69.5(59.800) | 52.3(45.000) | 17.2(14.800) | 24.0 | 15.0 | 8.72(7.500) | 14.0(12.000) | 20A (R3/4) |
| L.P.ガス | | 69.7(4.93kg/h) | 52.5(3.75kg/h) | 17.2(1.23kg/h) | 24.0 | 15.0 | 8.72(7.500) | 14.0(12.000) | |

◎ ガス・JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
◎ 出湯能力は、水圧200kPa(2kgf/cm²)のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
◎ 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

〔仕様表〕

| 項目 | 内容 | | | | |
|-----------------|------------------------|---|------------------------|------------------------|------------------------|
| 品名 | 135-3500型 135-3600型 | 135-3502型 135-3602型 | 135-3504型 135-3604型 | 135-3505型 135-3605型 | 135-3506型 135-3606型 |
| 型式名 | GH-S2452W-R | GH-S2452T-R | GH-S2452Y-R | GH-S2452B-R | GH-S2452U-R |
| 外形寸法(mm)/質量(kg) | 幅480×奥行285×高さ750/48 | | | | |
| 種類 | 給湯方式 | 先止め式 | | | |
| | 暖房方式 | 温水循環方式 | | | |
| 給排気方式 | 給排気方式 | 屋外強制排気方式 | | | |
| | 設置方式 | 屋外設置形 | | | |
| 設置方式 | AC100V連続放電式(ダイレクト着火) | | | | |
| 使用水圧 | 使用水圧 | 100~500kPa(1.0~5.0kgf/cm ²) | | | |
| | 最低作動水圧 | 10kPa(0.1kgf/cm ²) | | | |
| 最低作動水 | 給湯 | 3.5ℓ/分 | | | |
| | 暖房 | 0ℓ/分以上(締切り使用可) | | | |
| 消費電力 | 定格 | 135-3500, 3504, 3600, 3604型:375W | | 左記以外:415W | |
| | 凍結予防作動時 | 135-3500, 3504, 3600, 3604型:455W | | 左記以外:495W | |
| 接続 | ガス給湯 | 20A(R3/4オネジ) | | | |
| | 給水・給湯 | 20A(R3/4オネジ) | | | |
| | 低温往き | 135-3500, 3502, 3504, 3505, 3506型: CHジョイント(BP) 135-3600, 3602, 3604, 3605, 3606型: QF16ジョイント | | | |
| | 高温往き | QF16ジョイント | | | |
| | 戻り | QF16ジョイント | | | |
| 連続 | ふろ | QF16ジョイント | | | |
| | オーバーフロー | 15A(R1/2オネジ) | | | |
| 電気 | 本体電源 | AC100V(50/60Hz) | | | |
| | 浴室リモコン | 2心 | | | |
| 安全装置 | ファン回転検出装置(回転検出方式) | 立消え安全装置(フレームロード方式) | | 過熱防止装置(温度ヒューズ) | |
| | 立消え安全装置(フレームロード方式) | 残火安全装置(バイメタル式) | | 過電圧保護装置(サージアブソーバー) | |
| | 残火安全装置(バイメタル式) | 過圧防止安全装置(スプリング式) | | 凍結予防装置(電気ヒーター+ポンプ運転) | |
| | 過圧防止安全装置(スプリング式) | 空だき安全装置(バイメタル式) | | 過電流安全装置(ガラス管ヒューズ) | |
| | 空だき安全装置(バイメタル式) | 空だき防止装置(水量センサー・水流スイッチ) | | 凍結防止装置(バイメタル) | |
| | 空だき防止装置(水量センサー・水流スイッチ) | 過熱防止装置(温度ヒューズ) | | 過電圧保護装置(サージアブソーバー) | |
| | 過熱防止装置(温度ヒューズ) | 過電圧保護装置(サージアブソーバー) | | 凍結予防装置(電気ヒーター+ポンプ運転) | |
| | 過電圧保護装置(サージアブソーバー) | 凍結予防装置(電気ヒーター+ポンプ運転) | | 過電流安全装置(ガラス管ヒューズ) | |
| | 凍結予防装置(電気ヒーター+ポンプ運転) | 過電流安全装置(ガラス管ヒューズ) | | 凍結防止装置(バイメタル) | |
| | 過電流安全装置(ガラス管ヒューズ) | 凍結防止装置(バイメタル) | | | |
| | 凍結防止装置(バイメタル) | | | | |

〔能力表〕

| 使用ガス 使用ガスグループ | 1時間あたりのガス消費量kW(kcal/h) | | 出湯能力(最大)ℓ/分 | | 出湯能力kW(kcal/h) | | ガス 接続 | | |
|------------------|------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|------|-------------|--------------|---------------|
| | 給湯・暖房 同時使用 | 給湯(最大) | 暖房 | 水温+ 25℃上昇 | 水温+ 40℃上昇 | 追いだし | | 暖房 | |
| 都市 ガス | 13A | 68.7(59.100) | 52.3(45.000) | 16.4(14.100) | 27.6 | 17.3 | 8.72(7.500) | 14.0(12.000) | 20A (R3/4) |
| L.P.ガス | | 69.0(4.93kg/h) | 52.3(3.75kg/h) | 16.5(1.18kg/h) | 27.6 | 17.3 | 8.72(7.500) | 14.0(12.000) | |

◎ ガス・JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
◎ 出湯能力は、水圧200kPa(2kgf/cm²)のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
◎ 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

長く使ってください

メモ

メモ

長崎県立美術館